

イファッド 国際農業開発基金（IFAD）日本連絡事務所が開所

～IFAD 主催のオンラインイベントに山中竹春横浜市長が登壇します～

横浜市は、みなとみらいのパシフィコ横浜内に横浜国際協力センターを設立し、国際機関や横浜市の国際化を促進する団体等に入居いただくとともに、その活動を支援することを通じて、市民の国際交流や国際理解の促進を図っています。

このたび、国際連合の専門機関の一つである国際農業開発基金（略称 IFAD）の日本連絡事務所が、横浜国際協力センター内に開所しました。開所にあたり、令和3年11月30日（火）に開催される IFAD 主催のオンラインイベントに山中竹春横浜市長が登壇します。

1. 日本連絡事務所開所日

令和3（2021）年11月15日（月）

2. 国際農業開発基金（IFAD）日本連絡事務所について

IFAD 日本連絡事務所は新興国における飢餓及び貧困を削減するため小規模農家に投資する重要性を発信し、日本のパートナーと協働することを目的としており、ワシントン、ニューヨーク、リヤドに続き世界で4か所目の連絡事務所となります。

今後、IFADと横浜市が連携し、食料問題の解決などに向けた取組を一層推進してまいります。

所在地：横浜市西区みなとみらい1-1-1 横浜国際協力センター6階

日本連絡事務所の主な役割：

日本政府、地方自治体、企業等日本の関係者との間の調整や、日本における IFAD の活動について PR を行う。



日本連絡事務所及びオンラインイベントについて取材を希望する場合は、以下にご連絡ください。

※事務所の本格的稼働は令和4年1月頃を予定しています。

パートナーシップ担当官 加藤真理子

e-mail : ma.kato@ifad.org

Tel : 080-7095-1730

メディアリレーションズ・アウトリーチ担当官 倉林知子

e-mail : t.kurabayashi@ifad.org

Tel : 080-5868-5709

3. IFAD について

正式名称：International Fund for Agricultural Development（国際農業開発基金）

設立：昭和52（1977）年

加盟国数：177か国（2021年2月現在）

総裁：GILBERT F. HOUNGBO（ジルベール・ウングボ）

本部：イタリア・ローマ

活動目的：貧しい国の農村地帯の貧しい人々が食料と栄養の安全保障を改善し、所得を増やし、経済的に強靱化できるようにするための活動資金の融資等の支援

4. IFAD 主催オンラインイベントの山中竹春横浜市長登壇について

日本連絡事務所開所にあたり、IFAD 主催のオンラインイベントに山中竹春横浜市長が登壇します。本イベントは日本政府が主催する「東京栄養サミット 2021」（令和 3 年 12 月）のサイドイベントとして開催されます。

【オンラインイベント概要】

(1) タイトル

貧しい農村の人々に健康的で安価な食事を届けるために私たちにできること

(2) 開催日時

令和 3 年 11 月 30 日（火）18:00～19:30

(3) プログラム

・総裁及び来賓挨拶

ジルベール・F・ウングボ IFAD 総裁（調整中）、外務省代表、横浜市長 山中竹春

・セッション

各登壇者による食料問題に係るディスカッション等

・閉会式

(4) 使用言語

英語（日本語、フランス語、スペイン語への同時通訳あり）

(5) 登録・参加方法

以下の URL よりご登録の上、ご参加ください。

https://ifad.zoom.us/webinar/register/WN_kBM_bwIIT-eaX4LWJgc8Dw

【国連食料 3 機関が横浜国際協力センターに集結】

横浜国際協力センターにはこれまでに国連世界食糧計画（WFP）及び国際連合食糧農業機関（FAO）が入居しています。新たに国際農業開発基金（IFAD）が入居することで、食料関連の国連 3 機関（WFP, FAO, IFAD）が集結しました。これら 3 機関はイタリア・ローマに本部を置き、食料問題に取り組む国連機関であるなどの共通点を有しており、連携による取組促進が図れます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



お問い合わせ先

国際局国際協力課長 佐藤 亮太郎 Tel 045-671-2078